



入院患者様への **面会** についてのお願い

インフルエンザ等の感染症の流行期を迎え、**感染予防のため**、面会につきましては、下記のとおりご協力をお願い致します。(11月1日より)

記

- ① 手洗い(手指消毒)をし、マスクの着用をお願いします。
- ② 飲食物の持ち込みは、ご遠慮ください。(許可のある場合を除く)
- ③ 15才以下の面会は、ご遠慮ください。
- ④ 発熱や下痢、咳やくしゃみ等の症状がある場合は、面会をご遠慮ください。
- ⑤ 家族・親戚以外の方の面会は、ご遠慮ください。
(特別な場合は、1階受付へご相談ください。)



「**面会時間の厳守**」も
お願い致します。

平日(月～土)

午後1時～午後8時

休日(日・祝日)

午前10時～午後8時

修業とは、

——内田樹氏の"修業論"より——

院長 関口 哲夫

内田氏は、合気道の道場、凱風館館長であり、神戸女学院の名誉教授でもあります。氏の"修業論"より、現在における修業の意義について考えてみたいと思います。

武道における修業とは、そもそも、"黙々と、師の言われた通りのことをしなさい"というもので、動機づけとは無縁で、計測できるものでもなく、終わりもない。すなわちご褒美とは無縁で、その過程、成果が数値で表されるようなものではなく、どこまでやればいいというものでもないということです。

修業の意味は、後にならないとわからない、やっておいてよかった、というものです。

武道では、実生活の場に何らかの良い影響をもたらすために、道場で稽古を行います。

稽古は、修業を行う場であります。稽古で身につけるべき最も大切な能力は、トラブルの可能性を事前に察知して危険を回避する能力、即ち、生き延びる力であります。どこか、転倒予防、介護予防とつながりそうです。

敵とは、対戦相手ではなく、"自分の心身のパフォーマンスを低下させる要素"であるということです。無敵とは、因果関係の中に身を置かず、時間意識を書き換え、心身の自由を保ち、無闇に反応しないで、私という概念を書き換えた状態であります。心も体も、とらわれない、平穏な状態であります。個人には限界があるため、集団を一つにまとめ、他者と共生し同化する技術が必要となります。そして、最強の人とは、木鶏のごとく、敵を忘れ、私を忘れ、戦うことの意味を忘れるような人です。即ち、最強の身体運用は、守るべきわたくしという観念を廃棄したときに初めて獲得されます。意思を持たず、予断せず、操り人形、案山子または嬰兒のようであります。強くありたい、弱さがもたらす災禍を最小化したい、これが、武道を習う動機であります。このように述べています。

武道においてさえ、敵は、対戦相手ではなく、自分のうちにあり、自分でつくっているものだということです。現在、多くの人にとっての敵は、生活習慣病やロコモや老化でしょう。愚直に、一定の運動を繰り返すことこそが修業の本質であります。中国の人たちが、公園の木陰で、よく太極拳を行います。私たちも、黙々とラジオ体操や、ロコトレや、散歩で体を動かし、居合わせた人と、おはようございます。お元気ですね。気持ちいい朝ですね、などなど、他愛もない会話を交わし、何となく、一体感を共有する。周りに、そのような方をお見かけすると思います。人から、"何でいつもそんなに歩くの?"と問われたご老人が、"自分のためだから"と答えます。修業を続けていると、"なんだか少し違うかな"とを感じるようです。その、なんだか少し、なんとなく気持ちいいな、という体が感じることに意味があります。新しい気づき、変化、自信に、いつかふと出逢えます。データに一喜一憂するのに比べて、なんとわくわくすることではないでしょうか。

外に出て、運動を繰り返す、人と言葉を交わし、いい気分になる。畑の作業も、草むしりも、ウォーキングも、輪投げも、黙々と繰り返す。みな、よく生き延びるための、修業です。いつまでも修業者であり続けたいものです。





外来満足度調査にご協力いただきありがとうございました。

町立病院では、接遇改善とサービスの向上を目的に、毎年2回、職員の対応や待ち時間など11項目について5段階評価による外来満足度調査を実施しております。

今年9月30日(月)～10月4日(金)の期間に、外来会計待合室にてアンケート用紙による調査をお願いし、246名の方からご回答いただきましたので、その結果についてご報告いたします。

平成25年9、10月 実施

病院外来アンケート評価(%)

内 容	評価1.2	評価3	評価4.5
医師の対応は	0.0%	21.9%	78.1%
看護師の対応は	0.0%	18.4%	81.6%
受付職員の対応は	0.0%	23.2%	76.8%
各種検査職員の対応は	0.0%	24.8%	75.2%
待合室の雰囲気は	2.2%	38.0%	59.8%
ボランティアは	2.9%	41.6%	55.5%
診察待ち時間は	19.9%	35.3%	44.8%
会計待ち時間は	7.5%	42.2%	50.3%
予約制は	4.4%	17.9%	77.7%
治療内容は	1.2%	26.9%	71.9%
病院全体の評価は	1.6%	24.5%	73.9%

病院外来アンケート246名の評価

内 容	平均評価	
	今 回	前 回
医師の対応は	4.4	4.4
看護師の対応は	4.4	4.5
受付職員の対応は	4.3	4.3
各種検査職員の対応は	4.3	4.3
待合室の雰囲気は	4.0	4.0
ボランティアは	3.9	3.9
診察待ち時間は	4.3	3.5
会計待ち時間は	3.6	3.5
予約制は	4.2	4.1
治療内容は	4.2	4.3
病院全体の評価は	4.1	4.1



- 1=不満
2=やや不満
3=普通
4=やや満足
5=満足

各職種の対応につきましては、それぞれ 4.3 ～ 4.4 の評価を、また、診察待ち時間につきましては、前回は 0.8 ポイント上回る 4.3 の評価をいただきました。(5点評価中)

ご意見の中には、「医師や看護師さんの対応が良くて、安心して受診できました。」「職員の対応が親切で、とても良いと思います。」など、大変励みとなるご意見もいただいております。

しかしまだ、診察の待ち時間が長い、会計での待ち時間が長い、予約なのに時間がかかったなどのご意見をいただいております。これらにつきましては、診察前に『待たされた』と感じることのないよう 待ち時間の短縮に努めるとともに、看護師のお声かけによる早めの対応や、遅れ時間の表示等により待ち時間が予測できるよう努めて参ります。その他、ご意見の中でご指摘をいただいた点につきましても、改善して参りたいと考えております。

なお、予約につきましては、同じ時間枠に数人の方が入っておりますので、多少の待ち時間が生じることにご理解を賜りますようお願い申し上げます。

また、会計で15分以上お待ちの方は、会計窓口へお声かけください。

町立病院は、皆様から頂戴したご意見を取り入れ、皆様に親しまれ信頼される病院であることを目指して参ります。今後もお気づきの点がございましたら、お近くの職員や地域医療連携室にお声かけいただくか、<患者皆様の声>の箱へ投書いただきますようお願い申し上げます。



〈発行〉 国保町立小鹿野中央病院 〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地
電話(代表) 0494-75-2332 FAX 0494-75-3313

〈ホームページ〉「国保町立小鹿野中央病院」で検索、または「小鹿野町」のホームページからどうぞ。